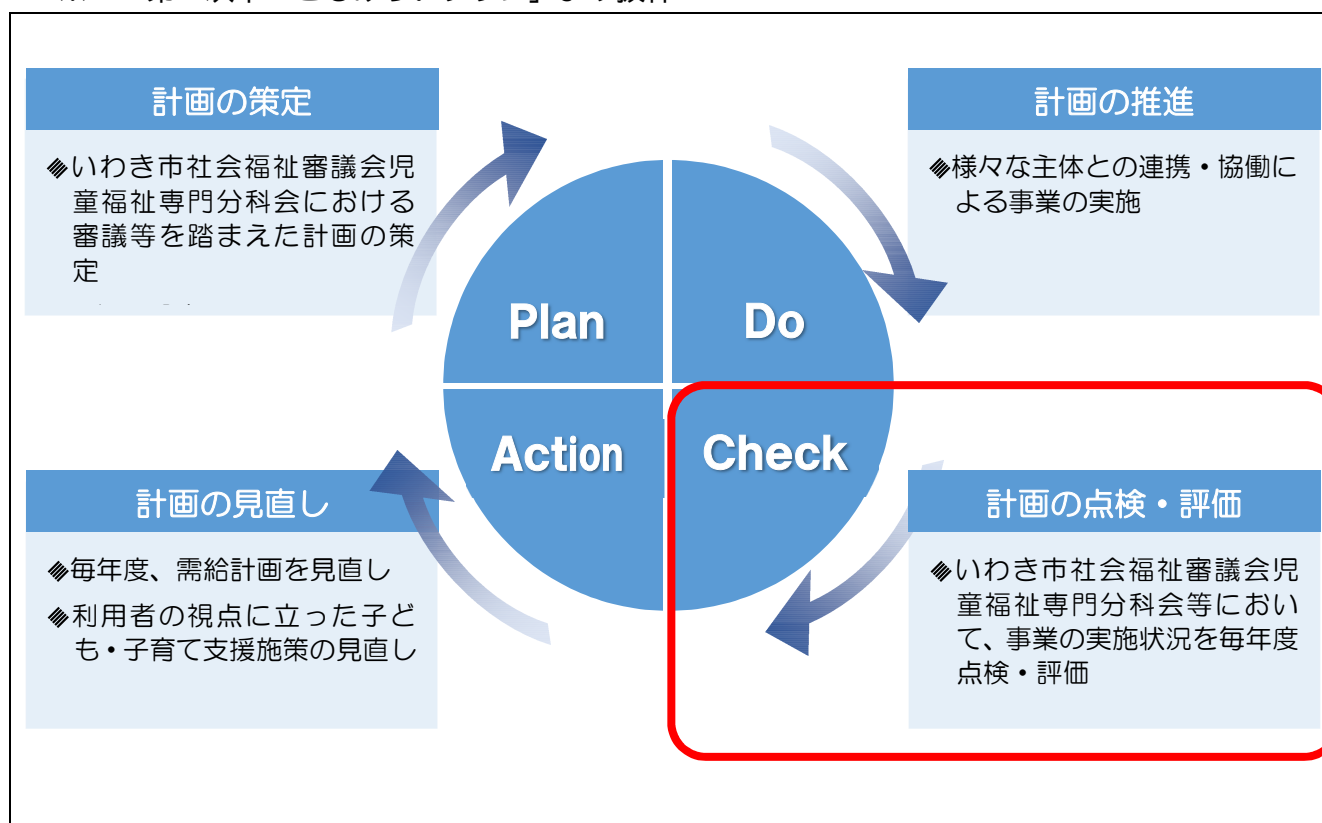


第二次市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

1 趣旨

「第二次市子ども・子育て支援事業計画（第二次市こどもみらいプラン）」については、社会福祉審議会児童福祉専門分科会等において、毎年度点検評価を行うこととしている。

※ 「第二次市こどもみらいプラン」より抜粋



2 点検・評価の手法

- 各種取組について
 - 子ども・子育て支援施策については、4つの基本目標ごとに、主な施策を抽出。令和2年度における取組についての実施状況、今後の方向性について報告。
- 需給計画について
 - 今年度内の幼保施設の状況、認可等の見通しを踏まえた見直し案について報告。

3 点検・評価

(1) 対象事業の選定

本年度は、計画初年度であり、現時点では年度間の実績が未確定であること、また、コロナ禍にあって計画どおりの取組が困難な事業もあったことなどから、対象事業については、次の視点に立って、基本目標ごとに1事業程度を選定。

- ① 新規、拡充の取組が含まれる事業
- ② その他、事務局において報告が必要と考える事業

※ コロナ禍で行った新規の取組については、別途報告事項として対応。

(2) 対象事業（6事業）

基本目標・事業名等	区分	担当課名
基本目標Ⅰ 安心して子どもを産み育てるために		
放課後児童クラブの充実	継続	こども支援課
公立保育所の整備	継続	こどもみらい課
基本目標Ⅱ 子どもが健やかに育まれるために		
いわきっ子入学支援シート	継続	子育てサポートセンター
基本目標Ⅲ 支援を必要とする子どもとその家庭のために		
就学援助金	拡充	学校教育課
放課後児童クラブ利用料助成費	新規	こども支援課
基本目標Ⅳ 子育てを地域全体で支えるために		
ホームスタート事業	継続	こども家庭課

(3) 点検・評価

基本目標Ⅰ

安心して子どもを産み育てるために

(計画本編 P.37)

事業名	放課後児童クラブの充実 【継続】	こども支援課
-----	------------------	--------

○ 事業内容

保護者の就労等により、昼間保護者のいない家庭の小学生に対して、適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。

○ 予算・決算等

(単位：千円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額	648,423	711,047	984,750	912,585
決算(見込)額	624,527	703,594	906,623	—
クラブ数	64	68	72	76
利用児童数	2,797	3,050	3,128	—
待機児童数	4	9	9	—

※ クラブ数、利用児童数等は各年度5月1日現在。令和2年度の待機児童数は、7月1日現在。

○ 令和2年度の主な取組

- ・ 放課後児童クラブに対する委託（72クラブ）
- ・ 放課後児童クラブ室の整備
プレハブ（大浦小、湯本三小）、余裕教室（菊田小、錦小、小川小）
- ・ 放課後児童支援員研修の実施
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応
(保健衛生用品の購入補助、利用を自粛いただいた場合の利用料の返還)

○ 今後の方向性

- ・ 利用ニーズの高まりにより、既設の児童クラブでの対応が困難と認められる場合や、小学校の将来的な児童数の見込み等を総合的に勘案しながら、整備箇所について検討していく。
- ・ 令和3年度から、新規の施策として、低所得世帯を対象とした利用料の負担軽減に取り組む（後述）。

事業名	公立保育所の整備 【継続】	こどもみらい課
-----	---------------	---------

○ 事業内容

公立保育所の老朽化や耐震化の状況を踏まえ、施設の安全性及び保育環境の向上を図るため、耐震化や新たな施設整備などを推進します。

○ 予算・決算等

(単位：千円)

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	698,639	656,108	341,703	74,206
決算(見込)額	648,370	643,227	336,810	—

【令和元年度までに竣工した施設】

- ・ 渚保育所 平成 31 年 2 月 供用開始
- ・ 白土保育所 令和 2 年 4 月 供用開始

○ 令和 2 年度の主な取組

- ・ あさひ保育園改築工事 令和 2 年 12 月 供用開始
- ・ 遠野保育所、田人保育所耐震補強工事
- ・ 高久保育園・夏井保育所の統合新園舎の設計

○ 今後の方向性

- ・ 施設の老朽化の状況等を見極めながら、着実に改築等の取組みを進める。

(令和 3 年度の主な取組)

名称	内 容	供用開始予定
高久・夏井統合保育所	高久保育園現園舎解体 新園舎改築工事※	令和 5 年度
高坂・御厩統合保育所	地質調査、新園舎設計	令和 6 年度

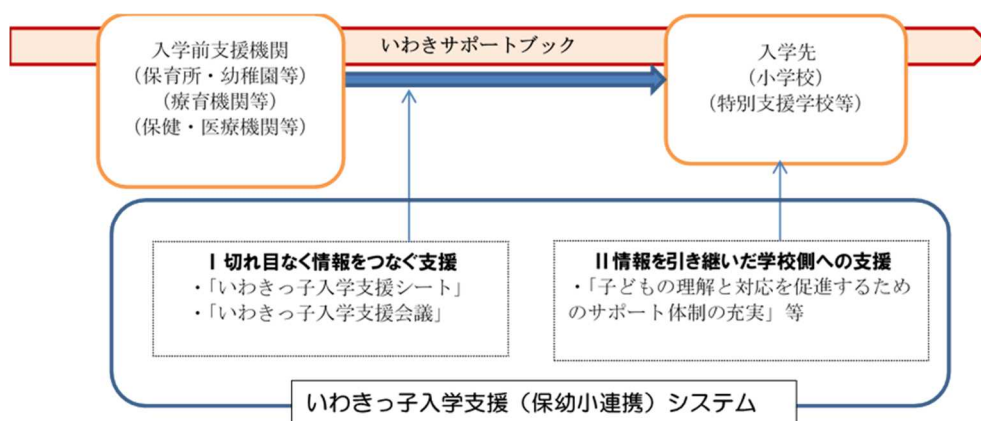
※ 高久・夏井の新園舎の改築工事に係る予算は、設計完了後、別途対応する考え。

事業名	いわきっ子入学支援シート【継続】	子育てサポートセンター
-----	------------------	-------------

○ 事業内容

「いわきっ子入学支援（保幼小連携）システム[※]」の一環として、入学前の子どもの成長や発達の歩みなど、保護者、療育機関、保育所等が協力してシートにまとめ、入学先に切れ目なく伝えることで、幼児期から学童期へライフステージが移行する際にも一貫性を持った配慮・支援を行います。

※ このシステムは、何らかの配慮が必要なお子さんに対して、(1)家庭や保育園・幼稚園、療育機関等で行ってきた配慮・支援の情報を小学校等に引き継ぐ「いわきっ子入学支援シート」「いわきっ子入学支援会議」、(2)情報を引き継いだ学校側を支援する「子どもの理解と対応を促進するためのサポート体制の充実」の2つから構成されています。



○ 予算・決算等

(単位：千円・人)

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	125	139	142	132
決算(見込)額	125	139	142	—
シート提出者数 [※]	604/2,470	642/2,558	—	—
(提出率)	24.4%	25.0%	—	—

※ 翌年度の 7 月時点における集計値

○ 令和2年度の主な取組

- 関係機関で組織する「いわき市こども発達支援連絡会議」を年3回開催
- 運用5年目を迎えるにあたりシステムの見直しを行い、入学支援シートや入学後のサポートシステム等について検討し「いわきっ子入学支援（保幼小連携）システム」の改訂版を作成

○ 今後の方向性

- 令和3年度年長児から改訂版手引きに沿って運用開始。
- 改正にあたり、入学支援シートの活用法や意義について、各関係機関に周知を図っていく。
- こども発達支援会議にて、随時、本システムの運用状況についてモニタリングを行う。
- 入学支援シート以外の情報を伝える手段「サポートブック」の有効な活用について、関係機関とも協同し検討していく。

いわきっ子「入学支援シート」作成・提出の流れ



いつまで、どこに提出すればいいの？

実際に入学される学校に、「入学説明会」の日までに提出してください。「入学説明会」の日に出しても大丈夫です。

保護者の方だけでなく、保育所・幼稚園等の先生、療育機関を利用している場合はその指導員の方にも書いていただくと、お子さんの様子がより詳しく伝わります。保育所・幼稚園等や療育機関は、「入学支援シート」について知っていますので、相談してみてください。

何に使われるの？

お子さんに必要な支援や配慮について、小学校で確認し、校内で共通理解を図るための資料として使われます。

学校側が計画し、実施する「入学支援会議」の資料としても使われます。「入学支援会議」を実施する際には、保護者の方にも出席していただく場合があります。

※ 就学先の決定には使用しません。



その他、気をつけることは？

○ 全ての項目を記入する必要はありません。学校に伝えたいことのみご記入ください。

ただし、最後の「保護者氏名」の記入・押印は忘れずお願いします。

○ 保育所や幼稚園、療育機関等と一緒に記入されてもかまいません。

○ 学校には原本を提出していただきます。ご家庭でもコピーを保管しておいてください。

「入学支援シート」
作成・提出の流れ

配付

「就学時健康診断」で全ての保護者に配付されます。

保護者記入

はじめに、保護者の方が記入します。

保育所・幼稚園等記入

12月中には、幼稚園・保育所等の先生に記入を依頼してください。

療育機関等記入

療育機関等を利用されている場合には、利用先の担当に記入を依頼してください。

入学先の学校へ提出

提出の目安：2月の
入学説明会頃まで

いわき市教育委員会 教育支援室
電話番号 22-3716
いわき市子育てサポートセンター
電話番号 27-8599

いわきっ子入学支援シート ～切れ目のない支援のために～

*全ての項目を記入する必要はありません。お子さんのことで「特に小学校へ伝えたい内容」のみご記入ください

*保育園・幼稚園・療育機関等と一緒に記入されてもかまいません

子ども氏名	ふりがな		性別	生年月日
	氏名		男・女	年 月 日
住所				
保護者氏名			電話番号	

1 小学校入学後、お子さんに期待することを教えてください。

保護者より	
-------	--

2 小学校入学に向けて、お子さんのことで、現在、心配なことや不安なことを教えてください。

保護者より	
-------	--

3 小学校でのより良い生活のために、現在のお子さんの状況の中で「特に」小学校へ伝えておきたいことを記入してください。

項目	次の項目について、現在の様子の当てはまる数字に○をつけてください。	家族が特に気づかってきたこと 家族がていねいに関わってきたこと (1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ)	保育園・幼稚園等が「特に」ていねいに関わってきたことや配慮してきたことと、その結果	療育機関等が行ってきたことや配慮してきたこと
生活の様子	・着脱衣を一人でできる	1 2 3		
	・大便が一人でできる(始末も)	1 2 3		
	・小便が一人でできる(始末も)	1 2 3		
	・食事が一人でできる	1 2 3		
	・好き嫌いなく食べることができる	1 2 3		
	・自分の持ち物を一人で準備・片づけができる	1 2 3		
	・全身を使った運動(走る・跳ぶ・投げる・階段の昇降等)ができる	1 2 3		
	・手指を使った作業(はさみ等)ができる	1 2 3		
	・指示や話の内容を理解する	1 2 3		
	・自分の考えを言葉で伝える	1 2 3		
・自分の名前を読める	1 2 3			
・10まで数えられる	1 2 3			
・人物らしい絵を描ける	1 2 3			

項目	次の項目について、現在の様子の当てはまる数字に○をつけてください。	家族が特に気づかってきたこと 家族がていねいに関わってきたこと (1はい 2どちらともいえない 3いいえ)			保育園・幼稚園等が「特に」ていねいに関わってきたことや配慮してきたことと、その結果	療育機関等が行ってきたことや配慮してきたこと
		1	2	3		
集団場面での様子	・親以外の大人と会話ができる	1	2	3		
	・友達と一緒に遊ぶことができる	1	2	3		
	・皆と一緒に行動(集団行動)ができる	1	2	3		
	・じゃんけん等の簡単なルールを理解し遊ぶことができる	1	2	3		
	・思うようにいかないときに気持ちをコントロールする	1	2	3		
	・順番を待つことができる	1	2	3		
活動面	・活動中、座ることができる	1	2	3		
	・周りの雰囲気や状況に合わせて行動できる	1	2	3		
	・人の話を最後まで聞いて行動に移すことができる	1	2	3		
活動面	・音・触られること・人ごみ・匂い等を気にせず生活できる	1	2	3		
	・お子さんの得意なこと、好きな活動					
活動面	・お子さんの伸ばしていきたいこと					

4 このシートを記入した方

	記入機関および記入者名（児との関係）	連絡先電話番号	記入年月日
保護者	()		年 月 日
保育園 幼稚園等	()		年 月 日
療育機関等	()		年 月 日

5 その他

サポートブックの有無	有	無
関係機関・医療機関への相談・受診	有 (相談機関名 /)	無
子育てサポートセンターへの相談	有	無

このシートの内容を、関係する機関等と共有・連携することに同意します。

令和 年 月 日

保護者氏名

印

(計画本編 P.59)

事業名	就学援助金 【拡充】	学校教育課
-----	------------	-------

○ 事業内容

経済的理由により就学が困難と認められる世帯に対し、学用品費や給食費などの就学に係る費用の一部を支援します。

○ 予算・決算等

(単位：千円・人)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額	小学校	106,266	109,379	106,050	130,429
	中学校	116,155	116,973	100,861	121,909
	計	222,421	226,352	206,911	252,338
決算 (見込)額	小学校	95,044	94,696	106,050	—
	中学校	108,037	110,817	100,861	—
	計	203,081	205,513	206,911	—
認定児童・ 生徒数、 認定率※	小学校 (認定数/全児童数)	1,523/16,518	1,503/16,115	1,522/15,829	—
	中学校 (認定数/全生徒数)	1,001/8,928	1,003/8,720	964/8,543	—
	計	2,524/25,446	2,506/24,835	2,486/24,372	—
	(認定率)	9.92%	10.09%	10.20%	—

※ 令和2年度の対象児童・生徒数については見込数。

※ 全児童・生徒数に占める認定者の割合

○ 令和2年度の主な取組

- 国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価改定に伴い、中学校に係る入学準備金・新入学学用品費を2,600円増額し、60,000円(旧単価57,400円)としたほか、他費目についても増額改定

○ 今後の方向性

- 令和3年度より、全校の児童生徒から一律に徴収される生徒会(児童会)費及びPTA会費について、支給対象とした。
- 経済的な理由で就学することが出来ない児童生徒が生じることのないよう、広報周知や関係機関との連携を深めることで、支援が必要な家庭に制度利用を繋げるとともに、他自治体の支給内容や支給方法を参考としながら、就学に必要な費目の追加など支援拡充の検討を進める。

(新規事業のため計画本編に未記載)

事業名	放課後児童クラブ利用料助成費 【新規】	こども支援課
-----	----------------------------	--------

○ 事業内容

放課後児童クラブを利用する児童のうち、低所得世帯（生活保護世帯及び市民税非課税世帯）に属する児童の利用料[※]について、助成します。

※ 利用料（おやつ代や教材費などの実費負担分を除く）の全額
【上限額 11,000 円/月】

○ 予算・決算等

(単位：千円)

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	-	-	-	36,714
決算(見込)額	-	-	-	-

※ 令和 3 年度の対象児童数は、329 人を想定。

○ 令和 2 年度の主な取組

- ・ 「第二次市子ども・子育て支援事業計画」において、子どもの貧困対策の推進を目標の一つとして設定し、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、生活に困窮する子育て世帯への経済的な支援等を行うこととしている。
- ・ 児童クラブにおいても、家庭の経済状況等に関わらず、利用を希望する全ての児童が安全に安心して利用できる環境を整えていくことが益々重要となっていることから、助成制度のあり方など、制度の創設に向け検討を行った。

○ 今後の方向性

支援が必要な家庭に届くよう、放課後児童健全育成事業の受託者や小学校、幼保施設等を通じた制度の周知に努め、利用の促進を図る。

(計画本編 P.64)

事業名	ホームスタート事業 【継続】	こども家庭課
-----	----------------	--------

○ 事業内容

育児不安の緩和及び虐待等の未然防止など、子育て家庭の孤立化を防ぐことを目的とし、妊産婦や未就学児のいる家庭に、研修を受けた地域子育て経験者（ボランティア）が訪問し、家庭訪問型の子育て支援を行います。

【支援の例】

- ・ 話を傾聴する
- ・ 子どもと遊ぶ
- ・ 外出のお手伝い（公園へ行く、通院等）
- ・ 家事のお手伝い（調理、後片付け等） など

○ 予算・決算等

(単位：千円・件)

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	－	－	991	1,190
決算(見込)額	－	－	991	－
訪問世帯件数*	－	－	19	－

※ 令和 2 年度の実績は、2 月 28 日時点。

※ 令和 3 年度は、30 世帯への支援を想定。

○ 令和 2 年度の主な取組

- ・ ホームスタートによる活動支援
- ・ ホームビジター（ボランティア）育成講座（令和 2 年度：7 名が受講）
- ・ ホームスタート事業 PR 等（泉地区、植田地区民生・児童委員会定例会でのミニ講話、リモートによる市民向け講演会）

○ 今後の方向性

- ・ 利用者のニーズ等に沿いながら、研修を受けた地域の子育てボランティアによる訪問型子育て支援活動を拡充しながら実施する。
- ・ ホームビジター（ボランティア）育成等を継続する。